

下諏訪町

防災士会のかたのお話が心に残る。

10年ほど前、町の防災士7名で防災士として何か活動できないかと考え、町のチャレンジ事業（予算100万円）に応募し、その予算で防災士を増やすことを始めた。防災士になるには、大学で講座を受けなければならぬ。また、費用は1人3万円余。その費用を毎年の100万円から支出。ただし条件として、費用を出すかわりに防災事業に協力することとした。

現在135名の防災士が誕生した。

町の行政区10区にそれぞれ支部を作り、主に避難所開設の訓練を重点的に行っている。

指定避難所49ヶ所にマニュアルを置き、それぞれの指定避難所の側にコンテナを置いて、中には備蓄品が入っている。

私はお話を伺うまで、なぜ町の防災訓練に住民の1/3の人達が参加しているのか不思議だったが、これで納得できた。

住民の防災意識を高めることは、どこの自治体でも容易ではないが、一つの成功事例として八丈町でも大いに取り入れてもらいたい。

防災士会では、出前防災講座を実施していて、今回その一つである防災漫才を見せてもらった。笑いながら一つ一つの演技に納得させられた。2人組のお一人は「防災ネットワークしもすわ」の初代会長だと聞き、並々ならぬ情熱を感じた。

上田市

庁舎内にて職員から、私達個人のスマホにアプリの入れ方を実際に教えてもらい、QRコード決済ができるようになった。

次の日の朝、実際にバスに乗り使用してみた。私の乗ったバスはコミュニティバスで前で乗降するタイプ。料金箱のそばに乗車用と降車用それぞれの読み取り機が付いている。私のスマホをかざし降りた後、アプリを確認してみると200円決済されていた。

とても住民の利便性は良いと思うが、八丈町にと考えると色々な決済方法（クレジット・QRコード・電子マネー・現金など）ができたほうが、観光客のことも考えると利便性に優れていると考える。